

【様式1】

令和6年度 授業改善推進プラン

東久留米市立久留米中学校 第3学年

教科	学力に関する各調査に基づく生徒の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・4月に実施された「全国学力・学習状況調査」における[国語]の平均正答率は57%であった。特に「読むこと」の正答率は44.2%と「話すこと・聞くこと」と比べて低く、また「記述式」の正答率は50%に到達していない。 ・授業の「思考力・判断力・表現力等」の分野では「読むこと」、自分の考えを言葉にして、問題・発問に対して正確に「話すこと」に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての教材において基本となる「読むこと」において、漢字や文法事項をワークや学習プリント等を用いて丁寧に学習をすすめ、習熟度を定期テストで確認する。その際、上記の分野の正答率を60%にすることを旨とする。 ・自分の考えを言葉にすることに関しては、授業ノートの記述欄を活用し、記述式の問題に取り組みさせることで改善させていく。定期テストの記述式分野の正答率を60%にすることを旨とする。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・4月に実施された「全国学力・学習状況調査」における[数学]の平均正答率は46.8%であった。「数と式」「図形」の領域では、どちらも正答率が50%に達しておらず、無解答率も東京都の平均と比べ高いこと課題である。 ・同調査結果から、「数と式」の正答率が41.6%と特に東京都との平均の差が大きい。1、2年生の内容の定着に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査や確認テストでは、毎回都立高校の入試問題に似た1、2年生の復習を出題をしている。正答率はまだ60%程度になるため、朝学習等で復習の機会を増やし、80%を目指していく。 ・記述式の正答率が21.7%だった。定期考査でも記述式の問題は空欄が多いので、普段の授業から思考力を養うために考えさせる授業を実施していく。3学期以降に行う予定の入試の類題問題では、記述式の問題の記入率が60%以上になるように力をつけさせていく。
英語	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストや単元テストの結果、既習事項の定着に課題が見られる生徒が約3割であった。 ・現在取り組んでいる教材から、既習事項の定着及び語彙と文法の定着に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生までに学習した内容の定着によって、さらに理解が深まり、意欲向上につなげるように、各個人に復習課題を授業で明示する。 ・定期テストや英検IBAの結果などに基づき、各自の課題が何であるかを、適宜示す。年度末までに英検3級相当の力を持つ生徒が7割を超えることを旨とする。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートでは、「授業への粘り強さ」や「学習の調整」で約9割の生徒が肯定的回答をした。 ・「考え表現」が良くできたと回答した生徒は35%であった。 ・授業アンケートでは「知識相互の関連」について、約8割の生徒が肯定的回答をしたことから、横断的な知識が身に付く授業展開を今後も心掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験結果をもとに気づいたこと、分かることをまとめる力を伸ばしていくため、タブレット端末を週に1回以上使用し、データを扱う力を伸ばす。 ・今後も話し合い活動を取り入れ、単なる暗記でなく知識相互を関連付けさせて探究的に学ぶことが出来るよう、実験での考察レポート記述(80%)を旨とする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習の平均点が約45%で有ることから、基本的知識・家庭学習の定着に課題がある。また説明問題の正答率が25%であることから、問題の意図を読み取る力に課題がある。「国語」「数学」の学力状況調査でも、思考判断表現力が53.8%、要約する力38.0%。工夫した表現力42.6%であった。社会科での表現力やグラフを読み取る力を培うために家庭学習の出題の意図を読み取る力と用語の確認、授業の中で「継続的な社会の持続を目指すための自分の考え」を理論立てて説明できる力に繋げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項が社会にどのように繋がっているのかをICT機器や実物を活用した興味・関心を高める授業や教材の工夫に取り組む事で、具体的な説明文(60%)の記載に繋げる。 ・既習した学習内容の新聞記事・SDGs関係から、社会問題に繋げ、自分の意見を表現・伝える力を育む。(課題ワークの提出率90%)社会に貢献する考えを、多面的で、持続可能な社会を意識した具体的な取り組みの記述(70%)や発言(50%)、意思表示(70%)を旨とする。